

政務活動費活動報告（視察）

1. 出席者（会派名・個人名）
 - a. 会派／志士の会 個人名／北川元気
-

実施日：2014年7月30日（水）9:30～17:00 ～ 31日（木）9:30～17:00

【1，調査の目的】

1. 本市における現状と課題
 - a. ICTの活用／特別顧問においてICTのさらなる活用に取り組んでいるが、まだまだ成果は見えず、民間と比べてもその環境は決して良いとは言えない
 - b. コスト／住民の多様なニーズが増え続けている一方で、限られた人員、予算の中での対応は困難になっている
 - c. 職場環境／男女差、個人差を解消する取り組みを進める一方で、職員の働くチカラをさらに活用できる職場環境にはまだまだ課題が多い
-

【2，調査地選定理由】

1. 調査項目

〈一日目〉

9:30-11:20 基調講演

- 「The New Digital Business - Transforming Work デジタル時代の新しいビジネス - 働き方のこれから」／Google エンタープライズ部門 担当社長 アミット シング
- 「モバイルテクノロジーが推し進める仕事の変革、日本の経済成長」／グーグル株式会社 エンタープライズ部門 日本代表 阿部 伸一
- 「グローバル時代の人財とこれからの働き方（仮）」／G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長 橘・フクシマ・咲江 氏
- 「インターネットの力で東北の復興を」／グーグル株式会社 SMB マーケティング統括部長 伊佐 裕也
- 「教育の世界にクラウドを」／グーグル株式会社 エンタープライズ部門 教育担当 日本統括責任者 菊池 裕史
- 「Work Smart, Innovate More, Live Happier / テクノロジーが女性のためにできること」／グーグル株式会社 執行役員 CMO アジア太平洋地域 Google ブランドディレクター Women@Google Japan Chapter チェア 岩村 水樹
- 「男女差、個人差は当たり前。すべての人が成果にコミットする働き方」／株式会社ベネッセホールディングス グループ新規事業開発室 鬼沢 裕子 氏

11:30-12:15

- インターネットの力で東北の復興をサポート、イノベーション東北の事例トーク／**グーグル株式会社 防災・復興プロジェクト プログラムマネージャー 松岡 朝美**

13:00-13:45

- **Google for Education**／**埼玉県教育局 県立学校部高校教育指導課 未来を拓く学び推進担当 主幹兼主任指導主事 清水 雅己 氏**／**グーグル株式会社 エンタープライズ部門 教育担当 日本統括責任者 菊池 裕史**

14:00-14:45

- リーディング企業が示す、ダイバーシティ施策の成功例:男女差、個人差は当たり前。すべての人が成果にコミットする働き方／**株式会社ベネッセホールディングス グループ新規事業開発室 鬼沢 裕子 氏**

15:00-15:45

- **45分**でわかる **Google 流!** 社内 **SNS** からポータルまで次世代の情報共有プラットフォームのあるべき姿／**グーグル株式会社 エンタープライズ部門 セールスエンジニア 橋口 剛**

16:00-16:45

- **クイズ 1000 人**に聞きました。**Apps ユーザー会**メンバーのあるあるトーク!／**株式会社 JTB 情報システム 基盤システム部 ネットワークデザイングループ マネージャー 二子石 恭寛 氏**／**株式会社トウ・ソリューションズ グループシステム部 坂巻 敬 氏**／**株式会社プレイス 代表取締役 松田 優香 氏**／**株式会社ユニオン 管理部 主任 若林 慎吾 氏**／**他 Google Apps ユーザー会 メンバー**／**グーグル株式会社 エンタープライズ部門 SMB セールス アカウント エグゼクティブ 坂本 奈央**

〈二日目〉

9:30-11:20 基調講演

- 「**Google エンタープライズの新しいステージ**」／**Google エンタープライズ部門 グローバルマーケティングシニア ディレクター クリス ファルナッチ**
- 「**ポスト PC 時代のワークスタイル 最新プロダクト情報**」／**グーグル株式会社 シニアエンジニアリングマネージャー 及川 卓也**／**グーグル株式会社 エンタープライズ部門 SMB セールス プロダクト&テクニカル マネージャー 佐藤 芳樹**／**Google エンタープライズ部門 Devices for Work グローバルビジネス統括責任者 マイク ダオスト**
- 「**Drive for Work: ファイル共有の新しいソリューション**」／**Google エンタープライズ部門 マネージングディレクター ラファール スード**

- 「グローバル企業の Apps for Business 導入事例」／株式会社クボタ グローバル IT 化推進部 シニアマネージャー インフラ統括グループ 山下 啓介 氏／富士フィルムホールディングス株式会社 経営企画部 IT 企画グループ グループ長 富士フィルムコンピューターシステム株式会社 取締役 横山 立秀 氏／グーグル株式会社 エンタープライズ部門 Apps & Cloud ビジネス セールスグループマネージャー 杉水流 智之
- 「Google Cloud Platform 最新情報」／Google エンタープライズ部門 クラウドプラットフォーム グローバルビジネス統括責任者 シャイリッシュ ラオ
- 「Google Maps for Business 最新情報」／Google エンタープライズ部門 グローバル GEO セールス統括責任者 タルーン バハナガー
- 「クラウドで災害と向き合う」／静岡市長 田辺 信宏 氏

11:30-12:15

- セブン&アイ・ホールディングスのオムニチャネル戦略／株式会社セブン&アイ・ネットメディア 代表取締役社長 鈴木 康弘 氏

13:00-13:45

- 地図を防災対策に活かす／静岡市役所 建設局道路部道路保全課 新庄 大輔 氏／グーグル株式会社 エンタープライズ部門 セールス マネージャー 倉田 知明

14:00-14:45

- 「ビジネスを強力にサポートする Google Maps 活用事例」～導入ご担当者の声～／国際航業株式会社 法人事業部 法人営業部 飛田 貴史 氏

15:00-15:45

- Google 製品で創る 21 世紀の学習環境／広尾学園中学校・高等学校 医進・サイエンスコース 教諭 堀内 陽介 氏／グーグル株式会社 エンタープライズ部門 教育担当 日本統括責任者 菊池 裕史

16:00-16:45

- 社内変革のみならず社顧客接点においても Google Apps を活用し他社との差別化に成功した先進中堅・中小企業事例とは／グーグル株式会社 エンタープライズ部門 SMB セールス アカウント エグゼクティブ 坂本 奈央

2. 選定地

- ザ・プリンス パークタワー東京 〒105-8563 東京都港区芝公園 4-8-1

【3, 調査結果】

1. 内容と考察

Atmosphere Tokyo 2014 基調講演〈一日目〉

- 今年のテーマは「働き方の、これから」 Transforming Work-
 - 働き方のデザイン
 - モバイルの可能性とアンドロイドの普及
 - モバイルの発展によって新しい働き方を提案している
 - つながる、保存共有、可視化、探す、場所、アクセス
- 「変革」静岡市、損保ジャパンセブン&アイホーリディングス
 - ワークスタイルの変革は企業にとってどのようなインパクトがあるのか日本経済の経済効果二兆円
 - 個人ライフスタイルより遅れを取っているのは、働く環境
- モバイルの進化
 - 検索、コミュニケーション、ネットショッピング
- IT環境
 - wired→mobile
 - 自宅と職場どちらがアイティ環境は使いやすいのか！もはや個人のライフスタイルの方が使い勝手が好い
- 社会的環境の変化
 - 多様化するライフスタイル→様々なワークスタイル
- 働き方をデザインする
 - コラボレーション
 - 組織、地域、国境の壁を超えて
 - 生産性の向上
- イノベーション
 - Google 1.3兆円 トヨタ 1.8兆円
 - 働くことができるようになる人 15202億円
 - 定年後も継続して働くことができる人 4711億円
- ダイバーシティ社会に向けて
 - 多様な個性を活かせる人材育成、配置、登用
 - グローバル人材の不足
 - ダイバーシティ（多様性）
 - カテゴリーで判断しない
 - 外国籍人材
- 求められる人材
 - a. 国境を超えて活躍できる、マインドを持っている
 - b. プロフェッショナルスキルをもつ起業家的人材
 - c. 創造的問題解決能力
 - d. チェンジ・エージェンシー

- e. 創造的問題解決能力人財
 - ダイバーシティの不足
 - a. 長時間労働から生産性の向上
 - b. 9割が働き方の変化を望んでいる
-

インターネットの力で東北の復興をサポート。イノベーション東北の事例トーク

グーグル株式会社 防災・復興プロジェクトプログラムマネージャー 松岡 朝美

- Google テクノロジーによるプロジェクト
 - 仕事環境を良くしようとしているプロジェクト
 - 災害対応
 - デジタルアーカイブ
 - ビジネス支援
 - クラウドマッチング（サポーターと東北を繋ぐ）
 - なまり節ラー油、ホタテ
-

「Google for Education」

埼玉県教育局 県立学校部高校教育指導課

未来を拓く学び推進担当 主幹兼主任指導主事 清水 雅己 氏

グーグル株式会社 エンタープライズ部門 教育担当 日本統括責任者 菊池 裕史

- 未来の夢に向けて
 - 75.9%・・・小学校四年生以上の子どもたちの IT 利用率
- Google for Education
 - フォームで小テスト
 - ハードウェアの一括管理、本来の業務にかける時間を確保
- KHANacademy
 - データを活かした改善活動を GOOGLE のエンジンを使っている
- 管理コンソール：子どもたちのネット環境を管理
 - Google Play：学年別や教科別に、課金や広告などもこちらで管理
 - Google クラッスルーム：資料やワークシートなどの宿題を一括管理
 - 世界トップ74大学が GoogleApps を導入
- 埼玉県の事例
 - 10億円で県立学校175校の ICT 環境整備
 - 「豊かな想像力を発揮」
 - 「教師と児童生徒などの人間同士のつながり」

- 確かな学力の育成＝従来の教師による一斉型の授業だけではなく、「協調学習」をはじめ「相互に学び合う学習」を推進するなど授業の改善につとめ、児童生徒の主体的な学びを促す
- 未来を拓く「学び」推進事業、21世紀型スキル育成研修会、高校初任者研修「授業力向上研修」、の3つのなかに「協調学習」を取り入れる
- 埼玉県、COREF、Intelの3者で取り組み、最近Googleも加わる
- 協調学習（知識構成型ジグソー法）
 1. 学習課題（問い）に対する自分の考えをまとめる
 2. エキスパート活動：課題解決のヒントとなる部品をグループごとに1つずつ分担し、その内容を理解するために学び合う
 3. ジグソー活動：エキスパートグループから1人ずつ集まったジグソー班により、学習課題の解決に向け活動する
 4. クロストーク：ジグソーグループごとに課題の解とその根拠を説明し、全体で共有・意見交換を行う
 5. 活動を振り返りもう一度学習課題（問い）に対する自分の考えをまとめる
 - a. メリット：一人ひとりが主役となって活動ができる
- 教師側
 - 子どもたちにどういうことが学ばせたいのか？
 - 課題設定、ヒントの作成が重要
 - 子どもたちを注意深くみるようになった、指導力向上
- ICT環境
 - 平成12年 校内LANの整備
 - インターネット接続＋校内LAN整備＋クラス用PC設備
 - 平成14年 校内LANの分離
 - 教師用と生徒用を分離
 - 全県立学校を結ぶ学校間ネットワークの設備
 - 平成19年 NetCommons導入（国立情報学研究所が開発したCMS）
 - 平成24年 GoogleApps導入、メールサーバーを廃止＝予算削減
- 導入の目的
 - 安定稼働：利用者へ安定したサービスを提供
 - 予算削減：限られた予算を有効に活動
 - 負担軽減：ハードウェアを可能な限り持たないシステムを構築
 - 最新技術：常に最新のサービスを提供（システムは導入した時から陳腐化が始まる）
 - 特に利用者の多い電子メールを重視していた、Gmailを使いたいというところからのスタート
- 採択の理由
 - 操作性：機能表での比較では差はなかったが試用して操作性が良かった
 - シェア：他社サービスと比較し利用者が多かった

- 平成24年 Gmail、Google カレンダーの利用開始（教員は県で登録、生徒は学校で登録）
 - 平成25年 Google サイトの利用開始
 - 緊急情報を学校 HP に掲載の場合、緊急時 Web サーバにアクセスが集中し、ダウン。
 - これを機に、Google サイトにも掲載するように。（学校 HP と併用）
 - 平成26年 Google ドライブの利用開始
-

リーディング企業が示す、ダイバーシティ施策の成功例:男女差、個人差は当たり前。
すべての人が成果にコミットする働き方

株式会社ベネッセホールディングス グループ新規事業開発室 鬼沢 裕子 氏

- ベネッセの取り組み
 - 成果にコミットする働き方
 - 70年代後半～80年代前半 女性のチカラに着目
 - 80年代後半～90年代前半 戦力化した女性の定着
 - 90年代半～事業の多角化→多様な働き方の支援
 - 女性は、妻であり、親であり、娘でもある
- ライフワークマネジメント
 - 仕事、家庭、プライベートをマネジメント
 - 生産性を高く、働き方に柔軟性を持たせる
- 育児休職制度
 - 2013年度：子どもが1歳の4月または9月まで
- 育児&介護の時短制度
 - 2010年度：5時間時短は復帰初年度のみに
- ファミリーフレンドリーからワークライフバランスへ
 - 長時間労働を見直す
 - 育児休職制度の対象者を拡大
 - 育児休職中の経済的支援策を導入
- 取り組みの目的
 - 根底は「経営戦略としての位置づけ」
 - 社員は人財、チカラを引き出し、成長を支援
 - 女性優遇ではなく、考えていたのは「男女平等」
 - 個人の能力に着目した公平で透明な人事制度
 - 仕事の機会も能力開発の機会も均等
- 社員と会社との Win-Win の追求
 - メリハリのある勤務

- 育児看護介護の支援
 - 健康管理
 - 職住接近
 - 在宅勤務制度（研修、上司のチェックなどがあり、制度行使可能か判断される）
 - スーパーフレックス制度（コアタイムなしのフレックス）
 - 育児休職前後の研修
 - 能力開発ポイント制度
 - キャリアデザインワークショップ
 - 異動希望申告制度
 - 公募制度
 - 制度を導入する前は懸念事項はあるが、使っていくうちに知恵が集まる
 - 社員が本来持っている責任感＋組織での工夫
 - 「成果にコミットする働き方」を求めることは本人にとっても経営にとっても重要
 - ワークとライフは自分自身でマネジメントを＝ワークライフマネジメント
 - 5：5でやることではない、期待され活躍するために考えるもの
 - 「社員自身の努力」のサポート
 - チャンスを活かし、成果を出すために必要な両輪
 - 環境＝時間と場所についての柔軟性を高めて、生産性を上げる
 - 職場の制度やしきみ
 - 管理職の見方、考え方、
 - 同僚の見方、考え方
 - 本人＝自分の役割責任を果たして成果を出す
 - 熱意
 - 挑戦
 - 行動
-

45分でわかる Google 流！

社内 SNS からポータルまで次世代の情報共有プラットフォームのあるべき姿

グーグル株式会社 エンタープライズ部門 セールスエンジニア 橋口 剛

- コミュニケーション形態
 - Google の組織モデル＝縦割りの解消
 - イノベーション＝20%ルール、データ化・自動化
 - スピード＝どこでも生まれる、自社の製品を使う、
 - コラボレーション＝食事は人を繋げる、全部シェア、部署を超えた縦横の関係
- フローからストック
 - SNS→メーリング→ドキュメント→ファイルサーバ→CMS

- アイデア→ディスカッション→コラボと創造→蓄積→見える化
 1. Google+でアイデア出し (SNS で日頃からコミュニケーション)
 2. ドキュメントで共有 (アイデアから企画、見える化)
 3. フォーム (関係者からのアンケートで情報収集・データ化)
 4. WEB 会議 (議論で)
 - 情報量の変化に対応するために
 - そもそも「みんな」がほしい情報とは
 - それぞれの立場でほしい情報が違う
 - 当り障りのない情報になりがち
 - それぞれの単位でほしい情報がまとまったサイトが必要
 - 情報にたどり着くまでのコスト
 - 労働時間の38%が情報を探している
 - 検索＝「人が求めるもの・意思」＝ニーズ
 - 検索ログ、履歴を見れば、企業内のニーズを把握できる
 - ネットワーク型の組織：コミュニケーションとイノベーション
 - 組織横断的なバーチャルチーム
 - なぜ Google なのか
 - 場所を変えて働く業務特性に適合
 - 高い検索性
 - 定期的な老朽更新からの脱却
 - 継続的なイノベーションへの期待
 - メールいつでも、どこでも、送受信
 - チャット
 - ドライブによる情報共有。即時共有、共同編集
 - 生産性の向上コミュニケーション
 - Google カレンダー展開→セルフマネジメント
-

クイズ 1000 人に聞きました。Apps ユーザー会メンバーのあるあるトーク！

株式会社 JTB 情報システム 基盤システム部

ネットワークデザイングループ マネージャー 二子石 恭寛 氏

株式会社 トウ・ソリューションズ グループシステム部 坂巻 敬 氏

株式会社 プレイス 代表取締役 松田 優香 氏

株式会社 ユニオン 管理部 主任 若林 慎吾 氏

他 Google Apps ユーザー会 メンバー

グーグル株式会社 エンタープライズ部門 SMB

セールス アカウント エグゼクティブ 坂本 奈央

- 脱オフィスしたい理由

- 2位：すべてクラウドで完結させたい 35%
 - 1位：Office ライセンスコストが高い 56%
 - Apps で困ったこと
 - 2位：細かな調整ができない（フォント、縦書、レイアウト等） 18%
 - 1位：Office との連動、互換性がない 25%
 - Apps で一番好きなこと、サービス
 - 2位：カレンダー 22%
 - 1位：ドライブ 41%
 - クラウドだなど思う理由
 - 2位：安全にそれぞれの PC で情報を共有出来る 22%
 - いつでもどこでも誰とでもどんな端末でもアクセスできる 48%
 - 活用事例
 - 採用活動：履歴書 PDF 化→ドライブで共有→フォームで項目をつくり相対的に判断→自動的に集計→採用活動が終われば共有を外し漏洩防止
 - 営業マンにすべてタブレットをもたせる
 - 業務報告をドキュメントの「共同編集者にメール」で行う
 - 会議室を Google Calendar 上からのみ予約し、会議室フロアの集中端末タッチパネルと連動
-

Atmosphere Tokyo 2014 基調講演〈二日目〉

- はたらくをデザイン
 - いつもと同じを、Google で。
 - コンシューマの使うテクノロジーが会社で使うテクノロジーを追い抜いた
 - スマホ 3 人に 2 人持つ時代
 - モバイルファースト
- [新しい Google Apps のサイト](http://www.google.co.jp/intx/ja/enterprise/apps/business/)
<http://www.google.co.jp/intx/ja/enterprise/apps/business/>
- Chromebook for Work
 - WEB でクラス人のためのデバイス Chromebook
 - 仮想化で対応可能 (citrix、VMware)
 - 管理コンソール
- Chromebox for Meeting
(別添のとおり写真資料あり)
- Drive for Work
 - 組織再編しても問題なし
 - スプレッドシートによる情報共有

- 一人が所有するデバイスは**3台以上**（チーム間で共有が可能）
- 仕事のすべてが安全に何処からでもアクセスでき共有も簡単
- 共有ファイルサーバーとしての提案が本気でできる
- **1億9000万**の人が毎日使っている
- 使っていない人向け
 - 多くの企業がファイル共有に興味あり
 - 無制限 **1200円**ですべて付いている
 - **最大5TB**
- 使ってる人向け
 - **Google Apps for Business** と **Drive for Work (for Unlimited)** の違いは
 - **30GB**→無制限
- **Vault** によるアーカイブ、**eDiscovery** 対応
 - アーカイブ
 - コンプライアンス
 - 訴訟
 - アーカイブソリューション
 - メールを消してもメールが残る
 - 海外企業からの訴訟
 - 当事者はメールを消そうとする
 - 削除したら戻すことはできない
 - **Vault** の検索すごい
 - メール監査
 - **Vault for Drive**
- 監査ログと利用状況監視 **API**
 - 誰がアクセスしたか
 - 削除された情報の復元
 - 印刷やダウンロードも管理
- 管理コンソール機能拡張
 - サーバ間およびサーバ上のデータ暗号化
 - **Drive** 経由でファイルを共有、相手側に **Gmail** アカウントがなくても大丈夫
 - 全部を暗号化
- 富士フィルム
 - **11** のプロジェクト
 - **Apps** から、**Tips** へ。
 - ワンヴァーチャル・オフィス
 - グローバルに助けあい・情報共有・検索しながら仕事する
 - **Google** のお陰でワクワクしている
- 株式会社クボタ
 - **1兆5000億**企業・・**2018年**までに**2兆円**、海外売上**50%**→**70%**目標

- グローバル
 - 22000 人、60 メールドメイン、6.5Lotus Notes
 - 3つのS
 - Scale、Speed、Security を達成できるのは Google Apps しかない
 - Google Cloud Platform
 - 医療の世界の事例
 - CT を移動、画像をクラウドにアップ医師が自宅で診断
 - エムネスも Google へ。
 - 田辺信宏、静岡市長
 - Google Maps を使った災害からの復旧
 - テクノロジー 備える、災害対応、復興
 - クラウドで災害と向き合う
 - 3.11 をキッカケに防災を何とかしてほしい！
 - 責務は震災から市民を守ること
 - 東海地震説
 - 自主防災組織の強化が必要
 - アイデア、情報、生産性を共有
 - WEB で暮らす人々のために
 - 復旧復興の社会資本は道路
 - 橋、道路、被害情報を
 - 正確性とスピードが大事
 - 職員が現地に出向き、情報収集、無線や FAX でやりとりしていた
 - 大変な時間と労力がかかる
 - より強靱なシステムを（システムの条件）
 - 1 大規模でも安全である
 - 2 いつでも誰でも
 - 3 効率、短時間で発信できる
 - 結果、Google クラウド
 - 防災システムはこれから
 - 他の行政課題にも応用が可能だと感じる
-

地図を防災対策に活かす

静岡市役所 建設局道路部道路保全課 新庄 大輔 氏
グーグル株式会社 エンタープライズ部門 セールス マネージャー 倉田 知明

- Google Maps・・・圧倒的な情報量
 - 位置情報は更に重要になる
- 様々なシーンで実用化

- New York ハリケーンを受けて
- 東京都 防災マップ 2012年4月にクラウド化
- ブラジル (リオ)、赤十字など
 - 日頃から使っているからこそ有事の際に実用的に使える
- 静岡市について
 - 人口71万人 30万世帯
 - ユネスコエコパーク登録
 - 世界文化遺産登録「富士山」
 - 11月大陶芸W杯を開催
- 導入したシステム
 - 災害時や異常気象時の情報収集、共有
- GISの導入経緯
 - 東日本の教訓
 - 道路網確保の重要性
 - 詳細状況が把握できない中での対応
 - 庁舎が被災しても情報を発信できる
 - 多くの人たちに必要な情報を提供できる
 - H23年9月の台風12号、15号
- GIS導入を前提として条件
 - 大規模災害でも利用可能なシステム
 - 多くの人への閲覧に耐えられるシステム
 - 多くの人を使い慣れている背景地図の採用
 - だから GoogleCloudPlatform を採用
- 整備した主要機能
 - 災害情報管理機能
 - 登録した情報をその場で登録、Cloudで共有
 - 道路規制情報管理機能
 - 膨大なデータを地図上に登録
 - 他市をまたいで情報を管理・提供
 - 道路警戒情報管理機能
 - 巨大地震を想定し、緊急走路を決めている
 - 一次、二次、三次をあらかじめきめておく
 - 有事の情報を登録すると自動で計算できる
 - 情報公開機能
 - 一般公開サイト「しずみち info」
 - さらに発信
 - 防災メール構築中
 - SNS連携検討中
 - オープンデータ化

- 通行止め情報
 - 情報連携インターフェース
 - 県都の連携、情報共有
 - GIS 導入業者の提案
 - 普段使いが出来る GIS の導入
 - GIS の拡張
 - GIS のさらなる活用
 - 道路台帳の取り込み
 - 老朽化、維持管理などの膨大なデータを管理
 - 道路の主な危険箇所のセンサ類の取り込み
 - 政令指定都市という利点
 - ほとんどが静岡市が管理している
 - オープンデータ化への展望
 - カーナビ、企業、政府にも情報提供
 - さらなるシステムの転用へ
 - 強力な情報配信ツールに
 - 観光情報の発信も検討
-

「ビジネスを強かにサポートする Google Maps 活用事例」～導入ご担当者の声～

国際航業株式会社 法人事業部 法人営業部 飛田 貴史 氏

- 国際航業／会社概要：Google 製品サポート
- Google MapsBusiness ライセンスの契約形態
 - 公開サイトプラン
 - 非公開サイトプラン
 - トラッキングサイトプラン
- アットホーム株式会社／会社概要
 - 不動産議者向けツールを販売
 - アットホームサイト 地図検索機能
 - Google Maps 導入経緯
 - コスト、品質、
 - Google Maps 活用効果
 - 機能向上、品質維持、運用コスト削減
 - 採用継続の検討
 - コスト、品質、運用面で検討したが継続
- 日本土地建物グループ／会社概要 不動産運用
 - CRE 戦略とは
 - 法人が持っている不動産の運用、管理等をマネジメント

- 問題点は不動産情報の一元管理
 - 統計センター
 - 統計をつくる、活かす、支えるが使命
 - 「e-stat」サイトを運用
 - 統計情報をオープンデータ化
 - 保育園情報、乳幼児数、自宅からの距離など可視化
-

Google 製品で創る 21 世紀の学習環境

広尾学園中学校・高等学校 医進・サイエンスコース 教諭 堀内 陽介 氏
グーグル株式会社 エンタープライズ部門 教育担当 日本統括責任者 菊池 裕史

- 教育の現状
 - 同じ知識を持っている人間の大量生産
 - 21世紀型のスキルを身につける必要がある
 - 生活とキャリア
 - 学習とイノベーション
 - 情報・メディア・テクノロジー
 - 生徒が自分のペースで学習できる
 - 教える教育→サポートする教育
- テクノロジーを利用した協調的な学習の事例／広尾学園
 - 堀内陽介「自らの手で自らの道を切り拓け」
 - 広尾学園：医進・サイエンスコースで Google を活用
 - 知識・受験偏重ではない理系教育したい
 - 覚える→考えることを重視したい
 - 教員も巻き込んだ共同学習を重視したい
 - チームで研究活動をしたい
 - WEB を積極活用したい
 - グループウェアを採用
- Education の導入
 - クラウドベースのグループウェアが必要
 - いつでも、どこでも、どのデバイスでもリアルタイムに共有
 - 自動で更新される
 - セキュリティの確保
 - タブレットよりもノート PC が実用的
- chromebooks の導入の利点
 - クリエイティブな作業が多い
 - 起動が早い、すぐ作業ができる
 - タブレット並みの手軽さ

- 価格の面でも有効
 - 管理コンソール・一括管理
 - Gmail で生徒とのやりとりが便利
 - 動画で反転授業が可能になる
 - Apps を利用するメリット・デメリット
 - 管理コンソールによる一括管理は楽
 - 「共有」という新しい学びの概念が生まれた
 - ペーパーレスになった
 - 生徒のモラル・リテラシーが求められる
 - 生徒・教員のオーバーワークの可能性
 - 家庭での過ごし方、使い方に注意
 - 今後の方向性
 - 本物を伝える、本物に出会う
 - ハングアウトの利用
 - 知識・受験偏重ではない教育を実現
-

**社内変革のみならず社顧客接点においても Google Apps を活用し
他社との差別化に成功した先進中堅・中小企業事例とは**

グーグル株式会社 エンタープライズ部門 **SMB**
セールス アカウント エグゼクティブ 坂本 奈央

- 企業の経営環境は厳しさを増している
 - 競争環境の激化（人財の不足、差別化、コストの増大）
- 厳しい競争化においても業績が好調な企業
 - 差別化と人財
- 差別化を強みとする企業
 - サービスの高付加価値化
 - 開発力の強化
- 対顧客接点とは「市場・顧客」と社内の接点／Apps は差別化が出来る
 - 1 アンテナ化（顧客と社内）
 - 外食業→アンケートでお客様の声を可視化
 - 顧客満足度向上
 - 社員満足度向上
 - 革製品の販売・修理→ハングアウトで効率化
 - サービスの質
 - 顧客満足度向上
 - Google→社内 Google+で現場の声を仲間にシェア
 - 2 現場感の連携強化（社内間）
 - 不動産→スプレッドシートで最新情報を共有

- 受注率が向上
 - クレーム数が減少
 - 通信会社→現場を写真や動画にして共有
 - 金融→カレンダーで労使管理
 - 行動状況、商談内容（納期）を記録
 - 出勤簿・日報が不要
 - 漏れ無くムラ無くダブリ無く
 - 3個客化
 - 建設業→顧客専用フォルダで情報共有
 - 設計図、平面図、工程管理、契約書など
 - 写真、トレンド情報など
 - ホテル業→社内連携サイトで誕生日情報を共有
 - セキュリティ面において
 - 送付先を管理できる
 - 端末（ローカル）に残らない
 - 一括管理が出来る
-

今回、2日間にわたって最新のITテクノロジーについて学び、導入事例や活用方法を見てきたが、行政はイノベーションが起きにくい環境であり、民間と比べてはるかに遅れていることが明確にわかった。特にテーマになっている「働き方」については、決まった場所で決まったことしかできないIT環境で、事務の効率化やペーパーレスなどに取り組んでいるようであるが、根本的に見直さなければ意味がないのではないか。いつでも、どこでも、だれとでも、どの端末でも「はたらく」ことができる環境になることは、労働環境の改善のみならず、コスト削減や成果としてもメリットがあるだろう。彦根市において、ITリテラシーを向上させ、IT環境を改善することは大きく住民福祉に貢献できることであり、ムダ、ムリ、ムラのある現状を打破するためには大きく方向転換するべきである。今後も調査を重ね、市政に提案し続けることで、彦根市の「はたらく」のこれからをより良きものにしたいとあらためて感じるところである。

参考／<https://atmospheretokyo.withgoogle.com/>